

令和6年度都立東久留米総合高校(全)における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	大学一般入試に対応できる基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを活用し、語彙力を身につける ・問題演習を通し、読解力を身につける ・言語活動を通して論理的に考える力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した小テストの定期的な実施 ・選択科目において資格試験に挑戦する ・探究活動を積極的に取り入れる
地歴公民	社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動の充実	社会的な事象に対し自分の言葉で分析し、かつそれに対して意見を表明する力を身につける活動を定期的に実施する	対話的な活動を重視し、ICT端末等も用いつつ他者に対する説明や意見の表明を行わせることを通じ、深い学びに導く
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・事象を数学的にとらえ、数学の問題を見いだせる教材研究 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとする時間を取り入れた授業の実施
理科	自然の事物・現象についての理解を深めることにより物事を科学的に考察する力を身につける。	教科会で授業内容の定着を確認すると同時に知識が科学的な思考に繋がっているかについて確認していく。	観察・実験により仮説をたて考察する力を養う。大学受験に対応できる学力を身につける。
保健体育	「生涯を通じてスポーツに親しむ心と体を育てる」指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの実施により自身の体力や運動能力の把握。 ・準備運動やけが防止のためのストレッチの徹底 ・Teamsを活用し、事前課題の配信 ・グループ学習により主体的に運動に取り組む環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの結果に基づいて個々の課題を見つけ、トレーニングを実施 ・事後指導としてTeamsを活用し映像による実技の確認や修正を実施
芸術	芸術を主体的・対話的に取り組み、生徒一人一人の表現力を豊かにするために必要な技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実技時間を十分に取、技能を身に付ける ・グループ学習により主体的・対話的に学ぶ 	生徒ひとりひとりが芸術的観点より課題設定し、考察する
英語	英語4技能、実用的な運用能力指導の徹底	英文法の理解や語彙力の強化により英語によるコミュニケーション能力を活性化させる。日本英語検定協会実用英語技能検定試験の校内受検を実施し、準2級以上の取得者を増やす。	JET、ALTと連携し発信を意識した授業を行う。Challenge JournalやPresentation、一人一台端末を利用した単語テスト、音読テスト、オンライン等を活用し生徒一人一人の英語力の伸長をはかる。
家庭	生活を主体的に営むために必要な技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実習時間をできる限り確保し調理や被服の技能を身に付ける ・グループワークにより主体的に学び知識を定着させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら生活の中から課題を見出して、解決方法をレポート等にまとめる
情報	自ら考え、表現する力を身につけるための指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・知識事項について生徒自身に調べさせることで印象付ける ・生徒自身の意見や表現、取り組みを共有し、講評を行う ・課題解決のためにコンピュータを用いた実習を多く取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークシステムでのシステムの考察と実装 ・情報システムの仕組みを学び、システムの新しい使い方の提案や、新たなシステムの構築を行う。 ・情報デザインコンテストへの応募 ・学校紹介に活用できるデザインの作成